

2012.9

HATOBUKI

創刊号

岐阜社会保険病院の「今」を伝える

はとぶき

特集

常勤医増員と設備拡充で広がる医療

はじめまして、新・泌尿器科です。

はとぶきホットライン VOL.1

充実した病院のために、各所で活躍する ボランティア

岐阜社会保険病院と地域医療機関を結ぶ懸け橋

医療連携室 みどりの窓口



特集

常勤医増員と設備拡充で広がる医療

はじめまして 新・泌尿器科 です。

岐阜社会保険病院泌尿器科は、
2012年4月1日から常勤医を増員、
設備も拡充し、より安心の治療が
行えるようになりました。



創刊にあたって

岐阜社会保険病院
病院長 岸田喜彦

このたび当院の情報誌として新たに生まれ変わった「はとぶき」をお届けいたします。

これまで院外向けに「岐阜社保ニュース」、院内向けに「つなぐ手」を発行してまいりましたが、今回からこれらをひとまとめにして発行する運びとなりました。関係職員の努力により、従来の情報誌では不十分であった点を改善して、読みやすく、わかりやすい内容になったと自負しておりますが、今後も必要に応じて改良を重ねていきたいと思っております。

本誌が末永く皆さんに愛読されるよう努力してまいりますので、今後ともご支援のほど、よろしくお願いいたします。

イベントニュース

○地域に密着した病院をめざして

第11回市民公開講座

「前立腺がん」なんて怖くない ～早期発見のために～

近年急増傾向にある前立腺がん。2020年には、男性のがん患者の6.4人に1人が前立腺がんになると予想される身近な病気です。今回は、その予防と最新の治療についてお話しします。前立腺がんに対する理解と早期発見の大切さを知るために、ぜひご参加ください。

日時 2012年9月22日(土)

14:00～15:30(開場 13:30)

場所 可児市文化創造センター ala 小劇場(虹のホール)

講師 岐阜社会保険病院 副院長 山田 芳彰

定員 300名(予約不要・参加費無料) **共催** 可児市・可児医師会・岐阜県看護協会



▲第11回市民公開講座の様子

生まれ変わった泌尿器科 4人体制でより充実した医療を

2012年4月1日から岐阜社会保険病院泌尿器科は常勤医が2名増員となり、4人体制で診療、検査、手術を行っています。毎日の外来診療に加え、火・水・金曜日の週3日は2診体制を導入。待ち時間を短縮できるように努めています。また、通常の予約による診療はもちろん、初診の方や予約のない方が来院された時にも対応して



▲ 4人体制にすることで、待ち時間も短くなりました

います。加えて、予約が必要な検査も、緊急の場合に限って受け付けています。

手術はこれまで内視鏡手術を中心に行っていましたが、開腹手術など大きな手術も行えるようになりました。従来の内視鏡による経尿道的膀胱腫瘍切除術、経尿道的前立腺切除術に加え、専門性の高い前立腺がんに対する腹腔鏡下小切開前立腺全摘術、腎がんや腎盂尿管がんに対しての腹腔鏡下腎摘出術、腹腔鏡下腎部分切除術や腹腔鏡下尿管全摘出術も可能。初診から検査・入院・手術・退院後の通院まで、岐阜社会保険病院で一貫した治療ができます。

新しい医療機器を導入 多様な手術が可能に！

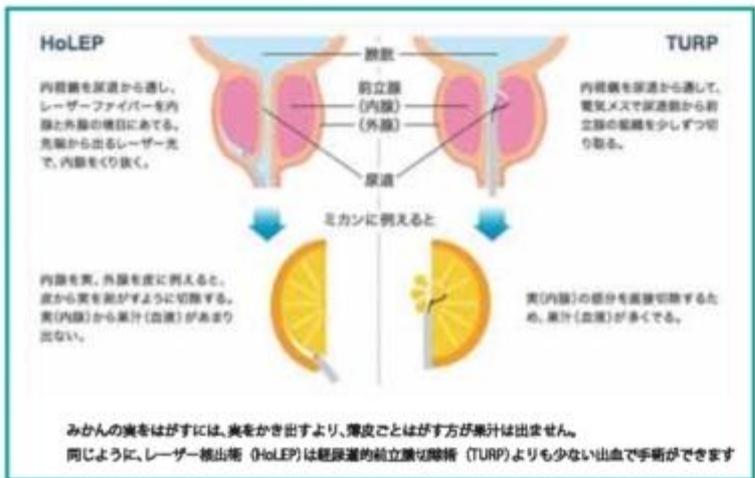
岐阜社会保険病院では前立腺肥大症の治療において、ホルミウムレーザーによる手術が可能になりました。

前立腺肥大症は、尿道から内視鏡を挿入して電気メスで前立腺を切除する経尿道的前立腺切除術（TURP）が一般的な治療

方法です。開腹手術と比べて、体への侵襲（影響）は小さい手術ですが、切除に際して出血のコントロールが難しいことや、合併症などが起こりうるという問題もありました。

当院が導入したホルミウムレーザーによる手術は、肥大した前立腺の腺腫を丸ごと切除してしまう核出術（HoLEP）です。核出術とは、経尿道的前立腺切除術などの内視鏡手術のように半円形の電気メスにより前立腺の腺腫を少しずつ切除するのではなく、肥大した腺腫をレーザーで止血しながら剝離し、膀胱内に丸ごと落とし込みます。周囲の組織から剝離された腺腫は、膀胱内でモセレーターという特殊な器械を用いて切除・吸引して体外へ排出。出血が少なく、大きな前立腺でも比較的短時間で手術できるため、患者の負担も少なくなり、入院期間が短くなるという効果も期待されます。また、腺腫の取り残しがなく、再発率が低くなります。

さらに、最新式の細径軟性尿管鏡の導入も完了。ホルミウムレーザーと併用して



▲ ホルミウムレーザー発生装置



▲ 直径0.2mmのレーザーファイバー



▲ 入院時も安全で安心できる質の高い看護を提供します

以前には手術ができなかった腎杯の結石の碎石手術も可能になりました。尿管狭窄や尿管腫瘍の内視鏡的治療もできます。より快適に多くの患者が当院で医療を受けられるように、新しくなった岐阜社会保険病院。当院の理念「安全と安心の医療」「患者中心の医療」「地域に密着した医療」を念頭に、今後も患者の人権を尊重したチーム医療と地域連携を継続していきます。

<p>副院長 山田 芳彰</p> <p>日本泌尿器科学会 指導医・専門医 日本ミニマム創設泌尿内視鏡学会 評議員</p>	<p>部長 青木 重之</p> <p>日本泌尿器科学会 指導医・専門医 日本泌尿器学会 がん治療認定医 日本泌尿器内視鏡学会 腹部鏡技術認定医 他</p>
<p>部長 七浦 広志</p> <p>日本泌尿器科学会 指導医・専門医 日本泌尿器学会 がん治療認定医</p>	<p>医員 原 浩司</p> <p>日本泌尿器科学会 専門医</p>

充実した病院のために、各所で活躍するボランティア



▲花壇づくりに精を出すボランティアの皆さん

水枕や検査機器のカバーづくり、木製ブレーキハンドルの車いすなどの整備・点検。おしぼりを一枚一枚、思いを込めて丸める作業や一階ロビーで開催されるミニコンサートなど、岐阜社会保険病院を陰から支えていただいているボランティアスタッフがたくさんみえます。

遡ること11年前、第1回「病院ボランティア養成講座」が開催されました。以降、年に一回開かれる養成講座には、多くの方々にご参加いただきました。現在では看護、園芸、車いす等の点検・整備、裁縫と活動範囲も広がり、暑い日も雨の日も時間の許す限り、当院に通院する患者さんのために病院のサポートをいただいています。

温かい気持ちで当院をサポートいただいているボランティアの皆さんには、この場を借りて厚く御礼申し上げます。これからも皆さんの力を拝借して、より良い病院になっていくように活動を続けていきます。

なお、今年度末にも「病院ボランティア養成講座」の開催を予定しています。これから必要となる介護の知識やこつも交え、家庭でも生かせる内容をお伝えします。興味のある方は、ぜひご参加ください。



▲おしぼりも一つひとつ丁寧に丸めていただいています



▲ベッドメークするボランティアの皆さん

病院内で使われている年代物の車いす、入院中に顔や体を拭くおしぼりなどは、どのように準備されたものか知っていますか？
岐阜社会保険病院では、快適に過ごせるように、ボランティアの皆さんが活躍しています。

岐阜社会保険病院と
地域医療機関を結ぶ懸け橋

医療連携室 みどりの窓口

他の医療機関からの紹介受付や、かかりつけ医の紹介など、地域医療の輪を繋げる窓口の役割を果たしているのが医療連携室です。山田副院長を室長として医療連携係、医療福祉相談係の二つの係で構成され、看護師、社会福祉士、事務員が紹介・相談などの業務を行なっています。

医療連携係は、紹介患者専用窓口「みどりの窓口」で、医院や診療所など地域医療機関からの紹介受付や専用電話・FAXによる診察予約、結果報告書・診療情報提供などの管理を行っています。紹介状をお持ち

地域の医院や診療所などの医療機関と当院は、切れ目なく質の高い医療を提供できるように、密に連携しています。かかりつけ医の紹介や、他の医療機関からの来院の際は、医療連携室の「みどりの窓口」をぜひご利用ください。

ちの患者さんから、電話で診察予約を受けた際や、地域連携バス（心筋梗塞連携バス）の運用や高頻機器利用（CT・MRI・胃カメラ等）の予約受付も「みどりの窓口」で対応しています。

また、当院では患者さんが日々の健康管理のために、近くの医院や診療所など、かかりつけ医を持つことをお勧めしています。医療連携係で紹介した医院や診療所と病院が密に連携することで、より患者さんが安心できる医療体制を整えています。

医療福祉相談係は、社会福祉士と退院調整看護師が専従。外来や入院の患者さん、家族に対し病気や障害によって起こる問題、社会保障制度利用等の相談に応じています。

地域、保健、福祉などと各機関と連携しな

がら、在宅支援や転院支援、社会資源の紹介や手続きをお手伝い。退院後も患者さん、家族が安心、安全に生活できるように支援しています。

今後も医療連携室では、さらに地域に密着した医療を提供できるように、地域医療機関との連携強化を図っていきます。



▲地域医療をめざして、努力しています

■ 外来診療担当表 平成24年9月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	
内科	初診	岩田 敬和	吉田 均	浅野 靖之	石黒 俊明	伊藤 貴彦	
	2診 (消化器)	渡邊 久備	清水 達治	印藤 敏彦	清水 達治	印藤 敏彦	
					日 渡邊 久備		
	3診	山田 清康	岩田 敬和	山田 清康	山田 清康	鈴木 進	
	4診 (循環器)	横内 一彦	松尾 大志	林 尋之	松尾 一宏	横内 一彦	
			林 尋之 13:00~				
	5診 (呼吸器)		各務 智彦	島田 永子	伊藤 亮太		
	6診 (神経内科)	眞野 智生	高木伸之介		小池 春樹	鈴木 淳一郎	
	7診	(血液)	吉田 均	伊藤 貴彦	吉田 均	徳山 清信	
		(腎臓)					浅野 靖之
8診 (内分泌)	萩本 繁	石黒 俊明	石黒 俊明		高槻 健介		
専門外来 (予約制)				粕谷 志郎 13:00~			
外科	1診	瀬古 浩	太田 俊介	瀬古 浩	太田 俊介	乳腺外来 10:00~12:00	
	2診	横田 一樹	池山 隆	横田 一樹	池山 隆	児玉 章朗 (血管外科)	
	3診	西村 廣大	岸田 喜彦	西村 廣大	石黒 太志 (呼吸器外科)	岸田 喜彦	
	形成外科 (予約制)		小野 昌史 2・4週 14:00~				
	小児外科 (予約制)		岸田 喜彦 14:00~				
整形外科	1診	吉岡 裕	高松 晃	渡部 達生	寺部 健哉	三島 健一	
	2診	杉浦 洋	岩月 克之 (手外科)	杉浦 洋			
	3診	倉知 明彦	服部 陽介 (リウマチ)	幸島 寛	新城 龍一 (骨髄)	幸島 寛	
	午後					川崎 雅史 4週 14:00~16:00(予約)	
泌尿器科	1診	青木 重之	山田 芳彰	青木 重之	原 浩司	山田 芳彰	
	2診		原 浩司	七浦 広志		七浦 広志	
小児科	午前	金山 恵子	月館 幸一	月館 幸一	月館 幸一	金山 恵子	
	専門外来 (午後予約制)	月館 幸一 (慢性疾患)	中田 智彦 2・4週 (神経)	長谷川 誠一 1週 (小児循環器)	月館 幸一 (慢性疾患)		
耳鼻咽喉科	1診	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	平野 光芳	
	2診	櫻井 一生			田邊 陽介		
婦人科	1診	片山 宣	鈴木 史朗	片山 宣	中原 辰夫	眞鍋てるみ	
皮膚科	1診	蘇原 雅明	蘇原 雅明	蘇原 雅明	蘇原 雅明	蘇原 雅明	
脳神経外科	1診		百田 洋之				
眼科	1診	清水 裕司			土井 浩史	瀬野 由衣	
内視鏡 (カメラ)	内視鏡室	清水 達治 印藤 敏彦	印藤 敏彦 渡邊 久備	清水 達治 渡邊 久備	印藤 敏彦	渡邊 久備	

□ 外来受付時間 ● 初診 8:30~11:30 ● 再診 8:30~12:00 ○ 休診日 土・日・祝日・年末年始